

余資なく優暇なき者へ——の原点
1888年『哲学館講義録』から2012年『メディア授業』まで

『哲学館講義録』の原点は
最新IT機器の中にも生きている。

2012年には「メディア授業」がスタートした。
スマホ画面の中におさまった、
黒板と、カンカンと響くチョークの音。

「学び」には年齢の限りがないことを
彼らの姿が教えてくれる。

「余資なく優暇なき者に教育の機会を開放する」
創立者 井上田了の思いを受け継いだ
現在の通信教育にもさまざまな人々が在籍する。
働きながら、子育てをしながら、
定年退職後、新しいことを始めたくなくなったから。

「折学館講義録」が刊行された。
通学せずとも学ぶことができる「館外員制度」に
全国から受講希望者が殺到したことが
当時の記録に残されている。

東洋大学の前身「私立哲学館」が開設された翌年、
1888(明治21)年に現在の通信教育の先駆となる

PLAY
BACK

TOYO UNIV.

VOL. 14

東洋大学は2012年に
創立125周年を
迎えました。



創立125周年を機にスタートした「メディア授業」は、
ワンセグ携帯やスマートフォンがあればローケーション
フリーに学ぶことができる。microSDを利用した日本初
の試みだ。

夏休期中や土日に行われる通信教
育課程のスクリーニング。ここで出会っ
た仲間が存在が、日々独学ですめ
る学習の心の支えになるという。



明治21年か
ら33年にわ
たって発行さ
れた各種の講
義録。

館外員制度をスタートして8年目、
すでに6,700人もが受講したとの人
気ぶりを伝える「哲学館講義録」の
広告(東京朝日新聞/明治28年6月)。



今号の表紙

1本の志を繋ぐ、タスキリレー



個人にまかされた役割を全うしながら、
一本のタスキをつなぎ、
全員の総合力で勝利を目指す。それが
「駅伝」が持つ最大の魅力だといわれる。
卒業後、社会人となれば
チームの力でプロジェクトを成功させたい、
みんなの力でなんとかよくしたい、と
願うような出来事に必ず出会うだろう。
タスキリレーはそんな思いの琴線に、触れる。

(上の写真: 大津選手から次世代エースの服部
選手へ)



発行日/平成25年3月1日
発行/東洋大学
編集/総務部広報課
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20
TEL 03-3945-7571
URL <http://www.toyo.ac.jp> E-mail mlkoho@toyo.jp
制作/(株)文化工房